

マーチ K12 IPDME/Rの作動点検

オートアクティブテスト

概要

- オートアクティブテストは、IPDME/R が下記のシステムに駆動信号を送ることで、作動点検を行なうことができる。
 - リヤデフォグガー
 - フロントワイパー (Lo, Hi)
 - クリアランスランプ、テールランプ
 - フロントフォグランプ (ディーラーオプション)
 - ヘッドランプ (Lo, Hi)
 - A/Cコンプレッサー (マグネットクラッチ)
 - ラジエーターファン

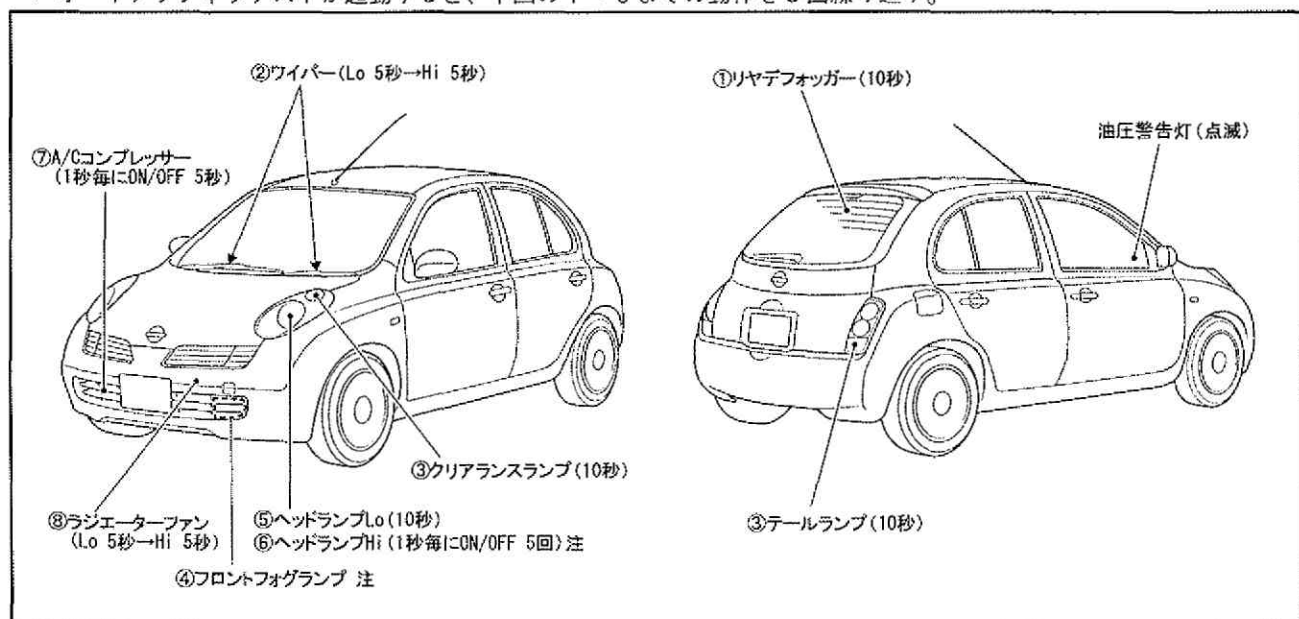
操作要領

1. フードを閉じ、ワイパーアームを起こす。(ワイパー作動による、ガラスの傷つき防止)
参考: フードを開けてオートアクティブテストを行なう場合は、フロントガラスに水をかけておく。
2. キースイッチを OFF にする。
3. キースイッチを ON にし、20 秒以内に運転席ドアスイッチを 10 回押し、キースイッチを OFF にする。
注意: 助手席のドアは閉じておくこと。
4. 10 秒以内にキースイッチを ON にする。
5. オートアクティブテストが起動すると、油圧警告灯が点滅を開始する。
6. 一連の作動を 3 回繰り返すと、オートアクティブテストを終了する。
参考: オートアクティブテストを途中で終了する時はキースイッチを OFF にする。

注意: オートアクティブテストが起動できない場合は、オイルプレッシャースイッチ系統「油圧警告灯が点灯しない (キースイッチ ON 時)」(DI-21 ページ) の点検と、「ドアスイッチ系統」(DI-35 ページ) の点検を行なうこと。

オートアクティブテストによる点検

- オートアクティブテストが起動すると、下図の 1～8 までの動作を 3 回繰り返す。



- 注意: • キセノンヘッドランプ車は Hi / Lo 切替のソレノイドを ON-OFF させる、このときバルブは点灯しない。
- ④はフロントフォグランプ付車のみ作動する。(フロントフォグランプ無車は 10 秒間何も作動しない)
 - ⑥ヘッドランプ Hi から ⑦ A/C コンプレッサーへ切り替わるとき、10 秒の空白時間がある。

オートアクティブテストの考え方

- IPDM E/R は BCM からの CAN 通信線によるドアスイッチ信号でオートアクティブテストを起動する。従って、オートアクティブテストが起動できた場合、IPDM E/R ~ BCM 間の CAN 通信は正常である。
- IPDM E/R が制御している、いずれかのシステムが作動しなくなった場合、オートアクティブテストを使うことで不具合個所の推定が容易になる。

オートアクティブテストによる診断早見表

現象	点検内容	推定不具合箇所	
リヤデフォッガーが作動しない	オートアクティブテストを実施し、リヤデフォッガーは作動するか。	OK	<ul style="list-style-type: none"> • BCM の信号入力系統
		NG	<ul style="list-style-type: none"> • IPDM E/R ~ リヤデフォッガー間のハーネスまたはコネクタ不良 • リヤデフォッガーの断線 • IPDM E/R (内蔵リレー) 不良
フロントワイパー、クリアランスランプ、テールランプ、フロントフォグランプ、ヘッドランプ (Hi、Lo)、のいずれかが作動しない	オートアクティブテストを実施し、該当システムは作動するか。	OK	<ul style="list-style-type: none"> • BCM の信号入力系統
		NG	<ul style="list-style-type: none"> • ランプまたはモーターの不良 • ランプまたはモーターのアース系統不良 • IPDM E/R ~ 該当システム間のハーネスまたはコネクタ不良 • IPDM E/R (内蔵リレー) 不良
A/C コンプレッサーが作動しない	オートアクティブテストを実施し、マグネットクラッチは作動するか。	OK	<ul style="list-style-type: none"> • BCM ~ ECCS C/U 間の CAN 通信信号 • ECCS C/U ~ IPDM E/R 間の CAN 通信信号 • BCM の信号入力系統 • ECCS C/U の信号入力系統
		NG	<ul style="list-style-type: none"> • マグネットクラッチの不良 • IPDM E/R ~ マグネットクラッチ間のハーネスまたはコネクタ不良 • IPDM E/R (内蔵リレー) 不良
油圧警告灯が作動しない	オートアクティブテストを実施し、油圧警告灯は点滅するか。	OK	<ul style="list-style-type: none"> • IPDM E/R ~ オイルプレッシャースイッチ間のハーネスまたはコネクタ不良 • オイルプレッシャースイッチ不良
		NG	<ul style="list-style-type: none"> • IPDM E/R ~ コンビネーションメーター間の CAN 通信信号 • コンビネーションメーター
ラジエーターファンが作動しない	オートアクティブテストを実施し、ラジエーターファンは作動するか。	OK	<ul style="list-style-type: none"> • ECCS C/U の信号入力系統 • ECCS C/U ~ IPDM E/R 間の CAN 通信信号
		NG	<ul style="list-style-type: none"> • ラジエーターファンの不良 • IPDM E/R ~ ラジエーターファン間のハーネスまたはコネクタ不良 • IPDM E/R (内蔵リレー) 不良

- IPDME/R は内蔵している IGN リレーの接点が固着して OFF できなくなった場合、テールランプを 10 分間点灯し、IPDME/R の異常を表示する。

オートアクティブテスト

概要

- オートアクティブテストは、IPDME/R が下記のシステムに駆動信号を送ることで、作動点検を行なうことができる。
 - リヤウインドーデフォグガー
 - フロントワイパー
 - クリアランスランプ、テールランプ
 - フロントフォグラмп
 - ヘッドランプ (Hi、Lo)
 - A/C コンプレッサー (マグネットクラッチ)
 - ラジエーターファン

操作要領

- フードを閉じ、ワイパーアームを起こす。(ワイパー作動による、ガラスの傷つき防止)
参考: フードを開けてオートアクティブテストを行なう場合は、フロントガラスに水をかけておく。
- キースイッチを OFF にする。
- キースイッチを ON にし、20 秒以内に運転席ドアスイッチを 10 回押す。
注意: 助手席のドアは閉じておくこと。
- キースイッチを OFF にし 10 秒以内にキースイッチを ON にすると、ホーンが一回吹鳴され、油圧警告灯が点滅を開始し、オートアクティブテストが起動する。
- 一連の作動を 3 回繰り返すと、オートアクティブテストを終了する。
参考: オートアクティブテストを途中で終了する時はキースイッチを OFF にする。

注意: オートアクティブテストが起動できない場合は、オイルプレッシャースイッチ系統 [油圧警告灯が点灯しない (キースイッチ ON 時)] (DL-23 ページ) の点検と、[運転席ドアスイッチ系統 (ナビゲーションシステム無し車)] (BL-25 ページ) または、[運転席ドアスイッチ系統 (ナビゲーションシステム付き車)] (BL-27 ページ) の点検を行なうこと。

オートアクティブテストによる点検

- オートアクティブテストが起動すると、下図の1～8までの動作を3回繰り返す。

